

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市長公室	広聴室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	04	11	広報広聴活動に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,388千円	357千円	572千円	0千円
	総人件費	14,882千円	15,029千円	15,893千円	
	総事業コスト	16,270千円	15,386千円	16,465千円	

事務事業名	01	タウンミーティング, 学生懇談会				指標名	参加人数				指標種別	活動結果指標				指標の概要			
		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標									
戦略プラン	-	-	-	-	350人	350人	-	タウン:300人 学生:40人	タウン:320人 学生:40人	タウン:340人 学生:40人	タウン:360人 学生:40人	タウンミーティング及び学生懇談会に参加していただいた市民等の数							
総合戦略	-	-	-	-	実績	地区:149人 学生:32人	学生:28人	タウン:120人 学生:39人	タウン:269人 学生:17人	-	タウンミーティング参加者への事後アンケートを実施し、タウンミーティング参加後に市政への親近感が得られた割合(※市長公約事業のロードマップにおけるKPI)								
市長公約	No.5					改善目標	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
個別計画	-						タウンミーティングを6地区ごとに開催する(年度内に一巡する)。開催場所, 時間, 形態, 頻度などについて検討し, 多様な開催方法で実施する。				●タウンミーティング: 幅広い年齢層の参加を促すとともに, 参加者が同じ顔ぶればかりに偏らないよう工夫する。 ●学生が参加しやすい開催時期や会場, 周知方法を再検討した上で事業を実施する。					事業費(A)	1,042千円	261千円	462千円
根拠法令等	-					事業計画	●大学生との懇談会 大学側と調整し実施する。 ●タウンミーティング タウンミーティング開催時のアンケート等により, 地域性を考慮し, 開催方法を決定する。 第2回は平成29年7月1日に荃崎地区で行う。				●タウンミーティング: 市内6地区で各1回開催 ・5/20(日)=谷田部, 5/26(土)=桜, 6/2(土)=筑波, 6/17(日)=荃崎, 7/8(日)=大穂, 7/28(土)=豊里 ・3月下旬: 市ホームページで周知開始 ・4~7月: 毎月, 市報, 市ホームページ, 区会回覧, SNS等により開催情報を周知 ●学生懇談会: 大学関係者との協議を通じ, 日程・会場・周知方法等を見直した上で事業を企画・実施する。				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	A 任意的事业						活動実績	●タウンミーティング(計6回) ・日時: 7/1(土), 10/7(土), 10/15(日), 10/22(日), 11/18(土)※10/22は同日に2回開催 ・会場: 市内6地区(荃崎, 谷田部, 筑波, 豊里, 大穂, 桜) ・内容: 市長と市民等による自由懇談 ●市長と筑波大学学生による懇談会 ・日時: 9月22日(金) ・会場: つくば市庁舎 ・内容: 議場見学, 市長による市政プレゼンテーション, 市長と学生の自由懇談				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ					成果		●タウンミーティング(計6回) ・日時: 7/1(土), 10/7(土), 10/15(日), 10/22(日), 11/18(土)※10/22は同日に2回開催 ・会場: 市内6地区(荃崎, 谷田部, 筑波, 豊里, 大穂, 桜) ・内容: 市長と市民等による自由懇談 ●市長と筑波大学学生による懇談会 ・日時: 9月22日(金) ・会場: つくば市庁舎 ・内容: 議場見学, 市長による市政プレゼンテーション, 市長と学生の自由懇談				上半期成果				地方債	0千円	0千円	0千円
事業の目的	市民第一の市政実現のため, 市民と市長が直接意見交換できる機会を設けることにより, 市民に市政を身近なものとして感じてもらうとともに, 市民の意見を今後の市政にいかすため。						課題	●タウンミーティング: 開催地区に特有の地域課題や住民のニーズを聴取し, まちづくりの推進に資する有益な情報を得ることができた。 ●学生懇談会: 学生ならではの視点から, まちづくりに係る意見や提案を受けることができた。 ●各事業共通: 市長と参加者との直接的な意見交換を通じ, 市民に市政に対する理解を深めることを促すとともに, 市政をより身近に感じてもらうことができた。				課題				その他特財	0千円	0千円	0千円
事業の概要	●タウンミーティング 市内6地区に市長が外向き, 市がどのような方針のもと, どのような施策を進めているか等について直接市民に説明するとともに, 市民から出された地域特有の課題等について意見交換を行う。 ●学生懇談会 大学生に市政への理解を深めてもらうための直接的な情報発信を行うとともに, 市長と学生の自由懇談等を実施し, 学生特有の課題・要望等を聴取する。					事業の進捗状況		●タウンミーティング: 若年層の参加を促すとともに, 参加者が同じ顔ぶれに偏らない工夫が必要。 ●学生懇談会: 学生が参加しやすい開催時期や会場, 事業周知方法の見直しが必要。 ●各事業共通: 聴取した意見・要望等を市政に反映させていくため, その進捗管理の仕組みの検討が必要。				課題				一般財源	1,042千円	261千円	462千円
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-	-		達成	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	人件費(B)	1,537千円	4,031千円	4,330千円	
	H30環境関連性	-	-	-	-	有効性	中: 適切な成果が得られている	達成	達成	有効性	-	改善目標の進捗状況	-	正職員	従事割合	0.20人	0.50人	0.40人	
		-	-	-	-	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている	達成	達成	効率性	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	時間外勤務	26.50時間	189.00時間	561.00時間	
		-	-	-	-	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施	達成	達成	総合評価	-	改善目標の進捗状況	-	臨時職員等	無	無	無		
		-	-	-	-									事業コスト(A+B)	2,579千円	4,292千円	4,792千円		
		-	-	-	-									H31年度当初積算根拠					
		-	-	-	-									H31年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市長公室	広聴室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	04	11	広報広聴活動に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	1,388千円	357千円	572千円	0千円
	総人件費	14,882千円	15,029千円	15,893千円	
	総事業コスト	16,270千円	15,386千円	16,465千円	

事務事業名	02	市長へのたより・メール等広聴事業				指標名	40日以内の回答率				指標種別	活動結果指標				指標の概要
						目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	市民等からいただいた意見や提案、要望について、40日以内での回答率(※平成29年度までは30日以内での回答率を指標としていたが、見直しの結果、平成30年度は指標となる日数を改定した。)		
戦略プラン	-	-	-	-		81%	81%	81%	70%	72%	74%	76%				
	-	-	-	-	実績	73%	84.8	69.4%	46.5%	-						
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標		
	-	-	-	-		関係各課と速やかに連絡調整を行うとともに、回答作成の進捗管理を的確に行い、30日以内の回答を目指す。	関係各課と速やかに連絡調整を行うとともに、各課による回答作成の進捗管理をより厳密に行い、前年度の実績を踏まえ、40日以内の最終回答を目指す。また、市民へのよりスピード感のある対応を目指すため、最終回答の決裁ルートの見直しも視野に入れて改善策を検討する。									
市長公約	-					事業計画	年度を通じて、市民等からの意見や提案、要望について真摯に対応し、関係各課と連携を密にしながら、速やかな回答作成を行う。				事業計画	年度を通じて、市民等からの意見や提案、要望について真摯に対応し、関係各課と連携を密にしながら、速やかな回答作成を行う。				
個別計画	-															
根拠法令等	-					活動実績	要望等の対応件数：931件 (※「市長へのたより」「市長へのメール」ほか、電話・来庁相談・要望書等による) このほか、前年度の未処理分33件にも対応				上半期活動実績					
事業分類	A 任意的事业				成果		回答を要する案件のうち、30日以内の回答率は46.5% (214件/全460件※) ※前年度未処理分は含まない					上半期成果				
執行体制	職員のみ					課題	前年度と比較して要望等の件数が著しい増加傾向にあることに加え、担当が複数部署にまたがる案件や、該当部署が不明確な案件、複雑な調整や調査・法務打合せ等を必要とする案件が増加しており、担当課による期日内の回答作成が難しいケースも多くなっていることから、従来は30日以内の回答が目標とされてきたが、30日以内の最終回答が困難なケースが多くなっている。				課題					
事業の目的	幅広い層の市民から市政に対する意見・要望等を聴取し、より良い市政運営に反映させていくため。				事業の概要		市庁舎や地域交流センター等の公共施設に、「市長へのたより」の専用はがきを設置するとともに、市ホームページに「市長へのメール」の送信フォームを設置し、郵送・Eメールの両方で意見等を提出できる体制を整えている。このほか、封書、要望書、電話、直接訪問による相談等、様々な形で市民の声を聴取している。 聴取した意見・要望等は、「市民の声支援システム」に登録して関係部署及び政策員等と情報共有し、必要なものについては、最大限の理解・納得を得られるよう誠意をもって回答することにより、市民満足度の向上を図っている。					H31年度当初積算根拠				
ISO 14001	H29環境関連性	-	-	-		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性	-
	H30環境関連性	-	-	-	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-					
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					

